

## 令和4年度大学の世界展開力強化事業プログラム委員会（第2回）議事概要

1. 日 時 令和4年8月24日（水）10:00～12:00

2. 開催方法 Web 会議

3. 出席者 委員 今村委員、荻上委員、勝委員、熊谷委員、黒田委員、國領委員、杉村委員、但田委員、長尾委員、林委員、日比谷委員、渡邊委員  
文部科学省 西條大臣官房審議官、渡辺高等教育局主任視学官、吉岡国際企画室専門官 ほか  
事務局 水本独立行政法人日本学術振興会理事、山本人材育成事業部参事、遠藤大学連携課長、持田同課長代理 ほか

### 4. 議題及び概要

(1) 高等教育を軸としたグローバル政策の方向性～コロナ禍で激減した学生交流の回復に向けて～

文部科学省から、高等教育を軸としたグローバル政策の方向性について資料1に基づき説明があった。主な意見は以下のとおり。

- ・スーパーグローバル大学創成支援事業(以下 SGU)は来年度に最終年を迎えるが、採択校を含めた統合的なシンポジウム等の計画はあるか。大学の世界展開力強化事業、経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業、SGU等を10年以上実施しているので、一度検証分析して、次のグローバル施策について検討すべきではないか。

(2) 大学の国際化にかかる施策の最新状況

文部科学省から、大学の国際化にかかる施策の最新状況について資料2に基づき報告があった。

- ・概算要求について、インバウンドに比べアウトバウンドの支援額が低いのではないか。アウトバウンドの増加は非常に重要であり、ダブル・ディグリー等を含む学位取得型のような、質の伴った交流について手厚く支援していくべきではないか。外国人留学生の就職率は5割程度にまで伸びており、来日のメリットは非常に大きい。一方でアウトバウンドは弱いので、総合的なバランスを考えていくべき。
- ・SGUが来年度に最終年を迎えるということで、その成果をどう日本全体の高等教育の国際化につなげていくかが課題である。

(3) 令和4年度選定候補の承認について

なお、上記議題(3)については「「大学の世界展開力強化事業プログラム委員会」の審議内容等の取扱いについて」1. (1) ①(審査・評価に関する調査審議など公平・公正な審査に影響を及ぼすことが懸念される場合)に該当することから、内容は非公開とする。